

日本の食の 安全保障を支える 日豪EPA/FTA



食欲旺盛の育ち盛りの子供のママ、はなこさん。最近は食品のラベルをきちんと読むように気をつけています。

節約上手な主婦のさなえさん。最近気になっていることは食の安全。



輸入品には関税という税金がかけられていて、これは消費者も負担しているんです。EPAは、または引き下げを目標として、消費者は得をすること

食費が安くなるなら大歓迎! 最近は食べ物がどんどん値上りしてるから。でも、輸入が増えると日本の農家のたちが困るんじゃない?

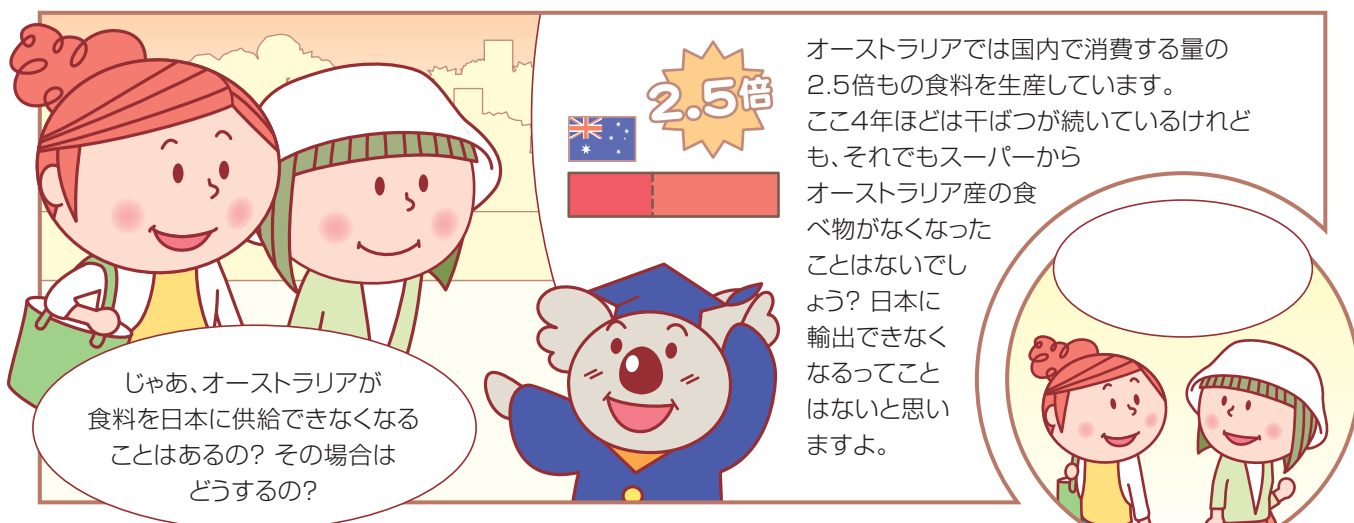
関税とは、「国境を越えたときにかかる税金」のことです。輸入品に関税が課せられるとその分だけコストが増加します。そのコストを消費者も負担することになるのです。

そうね。うちの息子はサッカーをやっていて食欲旺盛。で、私は時々ステーキを焼くんだけど、オージービーフはお買い得だね!

確かにそうね。生鮮食品を買うときは、ラベルを見ればはっきり輸入品かどうか書いてあるしね。

でも、お米はどうなの?

オーストラリアはとても乾燥した国で、最近ではお米はほとんどとれません。むしろ輸入が必要な状況。日本のおコメ農家に悪い影響はないですよ。



Ⅰ 日豪EPA/FTA交渉とは?

2007年4月に交渉が始まった日本とオーストラリア間のFTA(自由貿易協定)を柱とするEPA(経済連携協定)のことで、現在、交渉は進行中です。

日豪EPA/FTAは貿易の拡大、経済成長、消費の拡大など両国に多大な恩恵をもたらすでしょう。

日本とオーストラリアは両国ともさまざまな国とEPA/FTAを締結しており、他国とも現在交渉を行っています。

日本とオーストラリアが交渉しているEPA/FTAは貿易における関税の削減や撤廃だけではなく、サービス貿易、投資、政府調達、ビジネス環境の改善など二国間の連携強化・協力を促進させる包括的な協定です。

オーストラリアとのEPA/FTAの締結により、日本の長期需要を満たすために、安全で低コストなオーストラリア製品の安定供給を確保することが可能になります。

EPA/FTAは日本の農業分野の競争を促し、国際競争力の強化を促進するでしょう。

日豪間の緊密なパートナーシップは民主主義や人権擁護の価値観の共有とアジア太平洋地域の平和と安定のための協力という共通する国益によって支えられています。EPA/FTAはこのパートナーシップを強化します。

日豪EPA/FTAに関する詳しい情報はこちらのホームページをご覧ください。

<http://fta.australia.or.jp>